

●今まで

- a. 利用機器: パソコン主体
- b. 用途: インターネット・メール
- c. 利用場所: リビング・書斎など

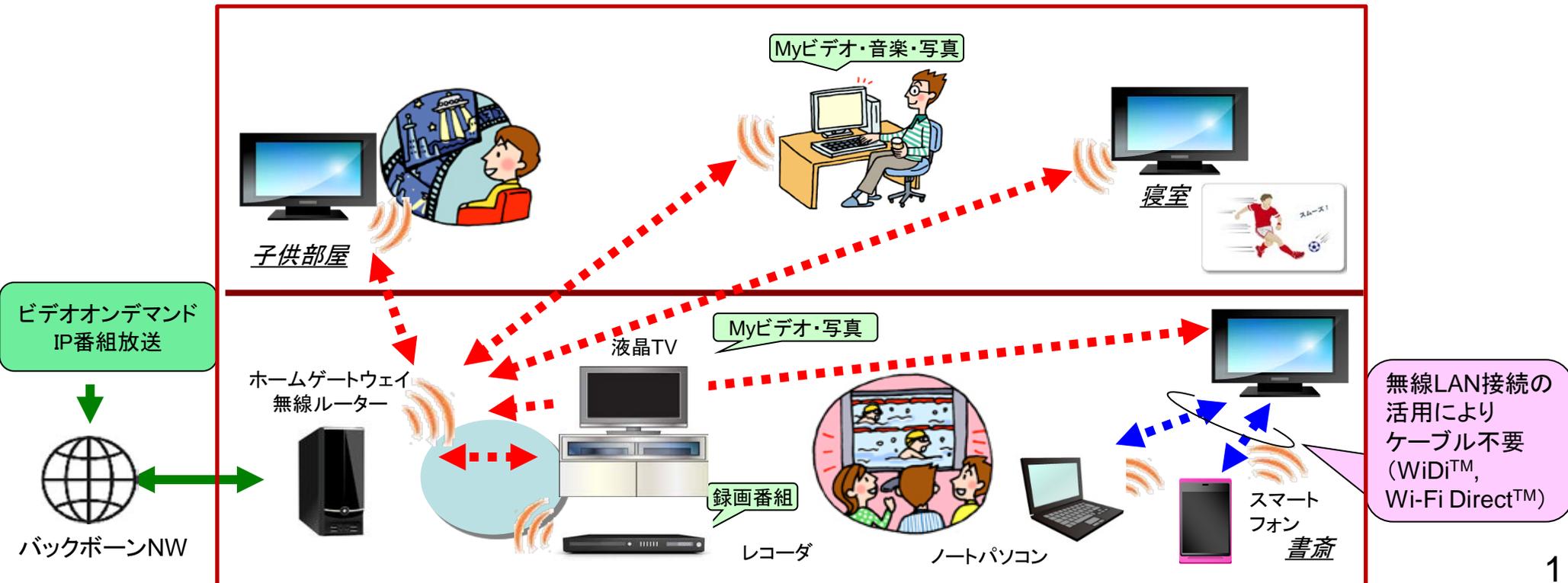


★これから

- a. パソコン、デジタル家電、スマートフォン
- b. 従来用途に加えて.....
 - ①マルチメディアコンテンツ閲覧
 - ②可搬型端末と大型モニタ間の無線I/F
- c. デジタル家電は固定設置

→低速でも接続すれば利用可能

→デジタルホーム用途には『家中すみずみ』まで『高速につながる』無線LANが必須!!



次世代高速無線LANの導入の目的等

※次世代高速無線LAN: 1Gbps程度の伝送速度を実現する高速な無線LAN

1. 目的

- 光ファイバ等の有線系ブロードバンドと遜色のない伝送速度(規格目標: 1Gbps)の無線LANの実現
 - 国際的な標準化動向(IEEE802.11ac)[[2012.2:ドラフト策定](#)]を踏まえた次世代高速無線LANの国内への早期の導入
- 以上のことから、[規格目標: 1Gbpsの伝送速度を実現する高速無線LANの導入](#)のため、現行の無線LANの技術基準を見直す。

2. 現状無線LANの概要と今回の検討の対象(太枠部分)

IEEE規格名(802.11xx)	制度化の時期	国内の適用周波数帯	最大伝送速度	屋外使用の可否
802.11b(最初の汎用無線LAN) 802.11g(-11bの高速化)	1999年(H11)10月(802.11b) 2002年(H14)2月(802.11g)	2400~2497MHz	11Mbps(802.11b) 54Mbps(802.11g)	可
802.11a(-11gの5GHz帯への拡張)	2000年(H12)3月 2005年(H17)5月	5150~5350MHz 5470~5725MHz	54Mbps	一部不可 (5150~5350MHz)
802.11n(-11a/gの高速化)	2007年(H19)6月	2400~2497MHz 5150~5350MHz 5470~5725MHz	300Mbps(実効)	一部不可 (5150~5350MHz)
802.11ac(-11nの5GHz帯の更なる高速化)	2013年(H25)3月(予定)	5150~5350MHz 5470~5725MHz	1Gbps(実効)	一部不可 (5150~5350MHz)